

特別講演 1

「Cr 値 1.5～2.0 患者の診かた」

福井大学医学部病態制御医学講座 腎臓病態内科学 教授

岩野 正之 先生

Cr 値 1.5～2.0 患者の対応は非常に難しい。この値に該当する高齢患者は多数見受けられ、病院・クリニックを問わず、超高齢化時代において腎臓専門医だけではなく非専門医が対応することも少なくない。eGFR は、Cr 値・年齢・性別から算出され、Cr 値 1.5～2.0 の患者では高齢者だと 30mL/min/1.73 m²未満の高度低下に該当する患者も多い。その中には、非専門医が診ても問題ない患者、すぐに専門医に紹介した方がよい患者、貧血治療のようなポイントだけを押さえていけば問題ない患者など、様々なパターンの患者が存在する。本講演では、血液検査や尿検査などから患者パターンの見分け方をわかりやすく解説したい。